

参考事項（ダイオキシン類対策特別措置法用）

- 記載上の注意 1 届出等に係る工場・事業場の状況等について記載又は添付するものとし、番号は該当するものを○印で囲む。
2 届出書及びその別紙に記載又は添付している事項については、あらためて記載又は添付を必要としない。

1 届出等担当者の連絡先等

届出等担当者 (連絡先)	氏名	所属 部課名	電話 FAX
緊急時の連絡体制等	窓口(所属・氏名) 電話		
公害防止責任者	職・氏名		
公害防止管理者	選任 1 要 2 不要	選任要 のとき	試験又は 資格の区分 種
従業員数	人	主 要 製品名	日本標準産業分類の 小分類番号・項目
特定施設メーカー名	処理施設メーカー名		

2 公害防止協定等

公害防止協定	締結 1 有 2 無	締結有 のとき	今回の特定施設等の 届出に関する事前協議	1 要 2 不要	事前協議 要のとき	1 協議済 2 協議予定	
周辺における公害 苦情等の問題	現在解決して いない苦情	1 有 2 無	有のときは その区分	1 ばい煙 2 粉じん	3 汚水 4 悪臭	5 騒音 6 振動	7 (その他)

3 ダイオキシン類発生抑制のための構造・維持管理上の配慮

	構 造	運 転 管 理 等
廃棄物焼却炉	1 外気と遮断された状態での、廃棄物の定量供給装置の設置 2 800 以上で燃焼 3 燃焼ガスの滞留時間が2秒以上 4 外気と遮断された燃焼室 5 助燃装置の設置 6 空気供給施設の設置 7 燃焼ガス温度の連続測定・記録装置の設置 8 集塵機の入口温度が200 以下に冷却できる装置の設置 9 集塵機に流入するガス温度の連続測定・記録装置の設置 10 排ガス処理の高度化 11 排ガス中のCO濃度の連続測定・記録装置の設置 12 ばいじん、焼却灰を別々に排出、保管 13 ばいじん、焼却灰が飛散しない灰出し設備の設置 14 その他()	1 廃棄物を均一にし、燃焼室に定量供給する 2 燃焼室を800 以上に保つ 3 焼却灰の熱しゃく減量を10%以下にする 4 助燃装置により炉を立ち上げ、廃棄物を燃焼し尽くす 5 燃焼ガス温度の測定・記録 6 集塵機の入口温度を200 以下にする 7 集塵機の入口温度の測定・記録 8 排ガス処理設備の管理(定期的にはばいじんを撤去) 9 排ガス中のCO濃度の測定・記録 10 排ガス中のCO濃度を100ppm以下にする 11 ばいじん、焼却灰を別々に保管 12 火災防止のための消火設備 13 その他()
その他の特定施設 上記「廃棄物焼却炉」の項目に該当するものがあればその番号を記入してもよい。		

4 その他、別紙として次の書類を添付する。

- (1)工場・事業場の平面図(建物、施設等の配置状況を記載し、今回の届出施設を朱塗すること。なお、水質に関する届出等については、放流先の名称、排水水の汚染状態を測定するための採水場所を記載、朱塗すること。)
(2)工場・事業場の案内図(工場・事業場に至る経路を記載すること。)
(3)大気に関する届出書等については煙突立面図(主要寸法及び測定孔の位置を記載すること。)
(4)水質に関する届出書等については用水及び排水の系統図(各系統の水量も記入すること。)